

2008年産総研九州センター 一般公開「移動地質標本館」出展報告

吉田 朋弘¹⁾・宮地 良典²⁾・古谷美智明¹⁾・兼子 紗知¹⁾

1. はじめに

2008年9月26日(金)–27日(土)に開催された、産総研九州センター一般公開に「移動地質標本館」を出展しました。26日は、鳥栖市内中学一年生限定公開で560名、27日が一般に公開され818名、2日間で1,378名の来場者がありました。

九州センターの一般公開の特徴は、26日の中学一年生限定の公開です。例年、一般公開前日に、鳥栖市内の中学一年生の団体用に公開を行っています。産総研地域センター全ての一般公開に顔を出したわけではないので正確ではありませんが、少なくとも私の知りうる範囲では、一般公開前日に中学校の団体が来る一般公開は、九州センターのみです。地域との連携が密に取れているのでしょう。

2008年の地域センター一般公開への出展協力に關しては、4名(研究者2・事務系2)体制を基本とし企画を考えてきました。しかし、今回は研究者の都合がつかず、研究者1名・事務官3名の体制になりましたので、地質についての専門的な解説を軽減し楽しんでもらうことを中心に企画しました。

2. 展示と解説コーナー

「北九州の地質–私たちが生活している地下はどうなっているの?–」

北九州の地質【20万分の1地質図幅「福岡」】【5万分の1地質図幅「福岡」「大牟田」】を展示・解説しました。

3. 体験コーナー

【ペーパークラフト「飛び出す火山」を作ろう】

「飛び出す火山」のペーパークラフトを、14種類の中から好きな物を選んで作成してもらいました。複数作成した子もありましたが、2日間で255個(26日150・27日105)作成されました。

【オリジナルしおりを作ろう】

もともとは、他の部署(地質調査情報センター)がつくばセンター一般公開の際に行っていた企画ですが、許可を得てノウハウを聞き、それに独

自性をプラスしました。

地質標本館のマスコットキャラクター「ジオくん」の絵10種1,000枚と、ラミネートフィルム500枚、リボン500本を準備し、「絵を選ぶ→自由に文字を書き込む→自由な形に切る→ラミネート→パンチ→リボンを付ける」のですが、26日には中学生が一人で数種作成できましたので、27日の分が不足することが予想されました。急遽、九州センターのプリンタでシートを増し刷りし、ラミネートフィルムも調達してもらい対応しました。

【砂で遊ぼう! 砂で学ぼう!! 「砂変幻」・エキジョッカー・オベリスク】

このコーナーでは、砂を題材とした「砂変幻」「エキジョッカー」「オベリスクを立てよう」などの実験を行いました。

遊び方を教えて自由に遊んでもらうコーナーですが、オベリスクが折れてしまっていました。もともと材質が弱いのですが、わざとおられたものではないことを祈るのみです。

4. 標本展示

「青柳鉱物標本の世界」として綺麗な鉱物数点と、「触れる標本」として水晶・アンモナイトほかの標本を展示しました。

5. 最後に

九州センターからは、毎年「移動地質標本館」の出展依頼を頂戴します。一般公開前日は、短い時間に大勢の中学生の対応をしなければならないため、従来の方法では十分対応できません。次回依頼がありましたら、前日の中学生対応を考慮し新たな企画を考えたいと思います。なお、スナップ写真の掲載ができなかったのは、このような状況で写真を撮っている時間が無かったためです。

YOSHIDA Tomohiro, MIYACHI Yoshinori, FURUYA Michiaki and KANEKO Sachi (2009): Exhibition in AIST Kyusyu Open Day 2008.

<受付: 2009年1月20日>

1) 産総研 地質標本館
2) 産総研 地質情報研究部門

キーワード: 産業技術総合研究所, 九州センター, 一般公開, 移動地質標本館, 佐賀県鳥栖市, 成果普及